

平成30年度 政策づくり塾 第3回活動報告

第3回は、政策づくり塾修了生の矢島修一さんと舞鶴青年会議所 社会開発委員会 委員長の鴨田秋津さんから地域公共活動報告をいただき、意見交換を行いました。その後、政策づくりをする上でのポイントについて窪田塾長から講義をいただきました。

1. 政策づくり塾修了生による地域公共活動報告

第5期生の矢島さんからは、塾生時に実施した「わくわくワーク」についての活動報告を行っていただきました。

◆動機

子どもたちに、職業体験をする機会を作ってあげたい。
舞鶴版キッズニアをやりたい。

◆活動内容

小学校3～6年生を対象にパティシエ、大工、金融などの職業体験をしよう。

◆活動を通じて

参加した小学生、保護者の9割以上が次回もあつたら参加したいとアンケートに回答。
企業も子どもたちに仕事を知らせてもらう機会を求めている⇒参加者と企業側双方に需要がある。

◆課題

多数の申し込みがある中で、子どもたちが参加できる機会をいかに増やすか。（需要と供給）



▲活動報告の様子

2. 政策づくり塾修了生との意見交換

職場が異なるメンバーが集まり活動をしていく中で大変だったことや気をつけた方がよいことなど、疑問に思っていること、不安なことについて聞くことができました。また、効果的な広報など今後活動を行う上で参考になることについて聞くことができ、大変有意義な時間となりました。

加えて、鴨田さんからは昨年、今年と塾活動をヒントに実施している、舞鶴青年会議所主催事業の「わくわくワーク」について紹介をしていただきました。

～今年の「わくわくワーク」の案内～

日時・場所：8月18日(土) 13:00～16:00 舞鶴文化公園体育館 アリーナ
対象：市内在学の小学3年生～6年生
備考：イベントボランティアを募集中

3. 講義「政策づくり入門」窪田塾長

～アイスブレイク～

「塾での活動で不安なこと」についてとなりの人と1分間トークをしました。

【講義内容】

公共政策活動の企画を立てる上で気をつけた方がよいことについて、窪田塾長から講義いただきました。

①目的に関わるポイント

目的はあるか。法や市民の常識に反していないか。
目的を明確にし、達成までの絵を論理的に描くことが大切。

②調査に関わるポイント

市長や議会、企画担当者、実施に関わる企業の考えや先進事例などについて十分調べたか。
限られた時間の中で、できる限りの調査をする。

③手法に関わるポイント

企画内容が関係者に分かりやすいようにまとめられているか。
目的は達成できそうか。より少ない予算で同程度の効果をあげられないか。
(費用対効果)

④実現に関わるポイント

政策実現のキーパーソンたちは支持してくれそうか。(政策的実行可能性)
実施担当者は内容を理解し、やる気になっているか。(技術的実行可能性)



▲講義の様子

第4回活動

7月27日(金)18:15～20:15 舞鶴市役所 612会議室

内容：「取り組みたいテーマのプレゼン」「テーマの決定」※テーマ提出期限：7/20(金)